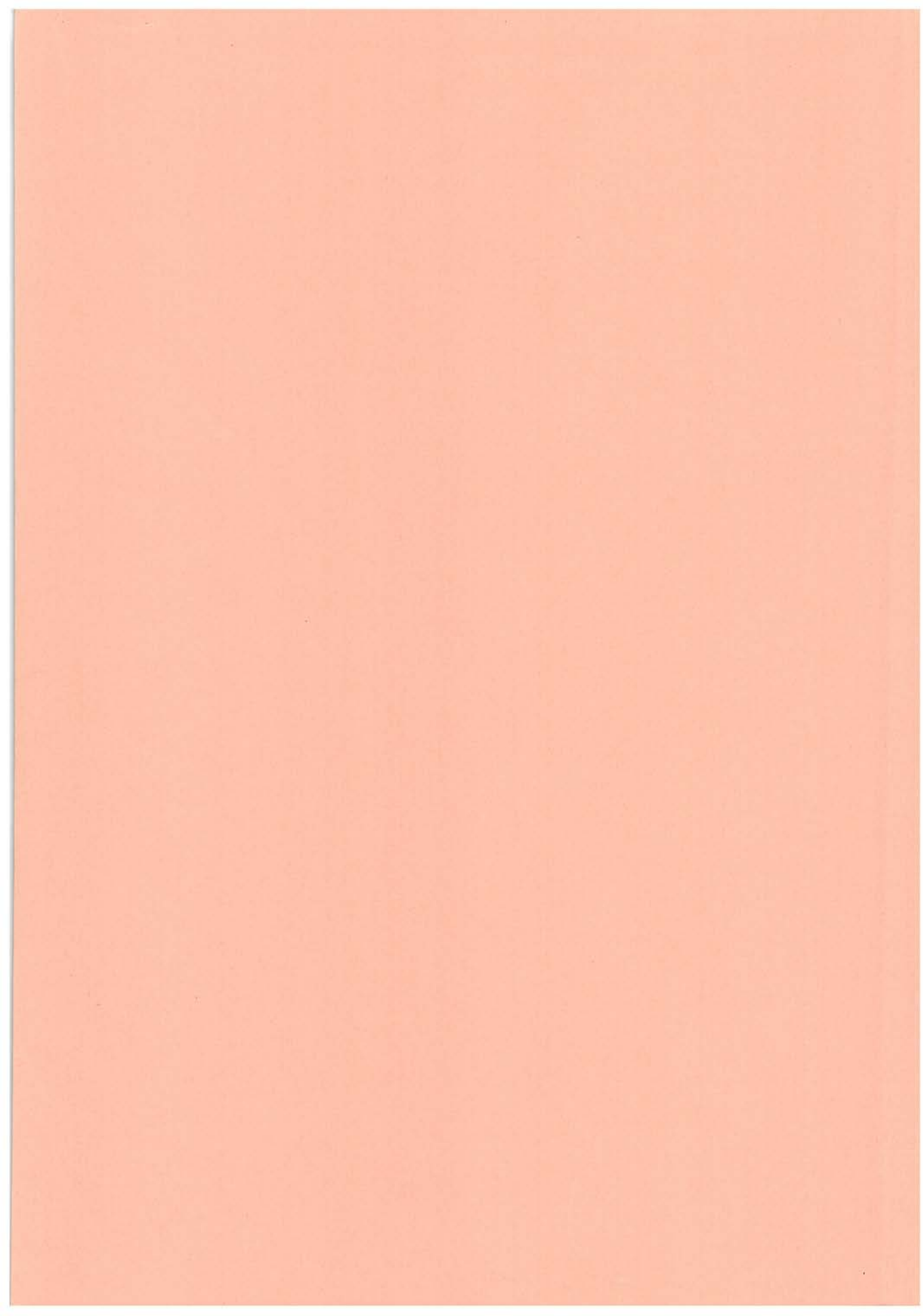


創立10周年記念資料集

ふらみんご



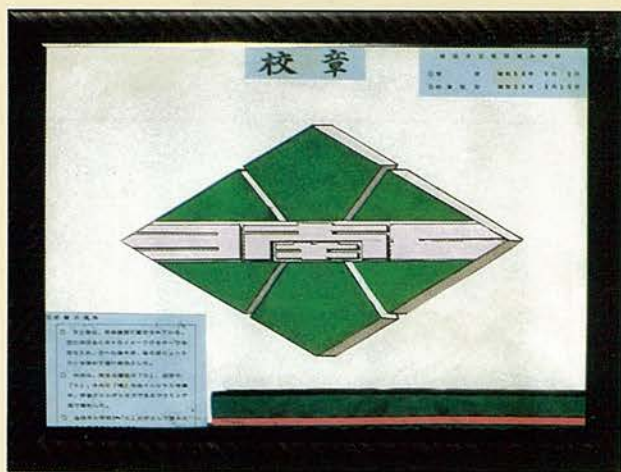
横浜市立荏田南小学校



開校宣言



校章



校旗





優勝旗



教育目標

横浜市立荏田南小学校校歌

岩本飛行六作詞
小長谷宗一作曲

一、みどりの風のニュータウン

フラミンゴ色の学び舎に

知恵も豊かにさわやかに

伸びるぼくたちわたしたち

みんなで学ぼう みんなで学ぼう

荏田南小学校

二、都筑の丘よわく雲よ

長い歴史の道に立ち

からだきたえてすこやかに

伸びるぼくたちわたしたち

みんなで築こう みんなで築こう

荏田南小学校

三、はるかに遠い海こえて

行こう世界の友の国

望みはるかにおおらかに

伸びるぼくたちわたしたち

みんなで進もう みんなで進もう

荏田南小学校

創立10周年記念資料集の発刊を祝う

学校長 柿澤長世

昭和58年9月1日に横浜市立荏田南小学校の開校宣言が行われました。それから今年度で10周年を迎えたわけですが、この歴史は大きく変わり、開校当時を知る人は、びっくりするばかりです。

十年一昔といわれるように、10年は歴史の上で記念すべき節目に当たりますが、この節目に何か記念に残ることをしようと、創立10周年記念事業実行委員会の方々が相談し、「創立10周年記念資料集—ふらみんご」を発行することになりました。

そこで、先生方が、この計画にそって力を合わせ、わたしたちのまちの様子や人々のくらしの様子、そして、この10年間のまちの変化の様子などを調べ、写真や地図を集めたり、昔のことを知っている人にたずねて文章に書いたりして編集していただきました。

この本は、日本中で他にはない、荏田南小学校の人たちのために発行した本ですから、大切に地域の学習に役立ててほしいと思います。そして、弟や妹たちにも引き継いでいってほしいと思います。

また、この本を読むときは、横浜市教育委員会や地元自治会の方々、歴代PTAの方々の協力、そして先生方や子どもたちの努力によって発展してきたまちや学校であることを心にとめてほしいと思います。

学校は、これまでに、横浜市小中学生創意工夫展学校賞の受賞・学校保健推進校や学校給食優良校としての表彰等、荣誉に輝きました。そして、現在は、横浜市徳育実践推進校として、心豊かな児童の育成を旨として努力しています。

これからのまちや学校は、この本にあるような10年のあゆみを土台にさらに発展していくことでしょう。どうか、私のまち、私の学校という意識でみんなで力を合わせて守り育てていってほしいと思います。

も く じ

1. わたしたちのまち荏田南	
(1) 学校のあるところ	1
(2) 学校から見たわたしたちのまち	2
(3) 土地のようすや使われ方	6
2. 住みよいわたしたちのまち	
(1) 北部工場とつづきふれあいの丘のしせつ	9
(2) その他のしせつ	15
(3) 住みよいまちづくり	17
3. わたしたちのまちの商店	
(1) 近くの商店のようす	18
(2) 店の利用調べ	19
(3) いろいろな売り方	21
(4) 商店のくふう	22
(5) 大きな商店がい	24
(6) 買い物をする人の声	26
4. わたしたちのまちの生産	
(1) わたしたちのまちの農業	27
(2) わたしたちのまちの工場	30
5. わたしたちのまちにある昔さがし	
(1) 昔の人々が使った道具	33
(2) 地いきに残る昔	36
6. わたしたちのまちのうつりかわり	
(1) 荏田南小学校ができる前の昔のようす	39
(2) 道路と交通について	40
(3) 昔の人のお話	44
(4) 荏田南小学校のうつりかわり	46
7. 年 表	50

1、わたしたちのまち荏田南

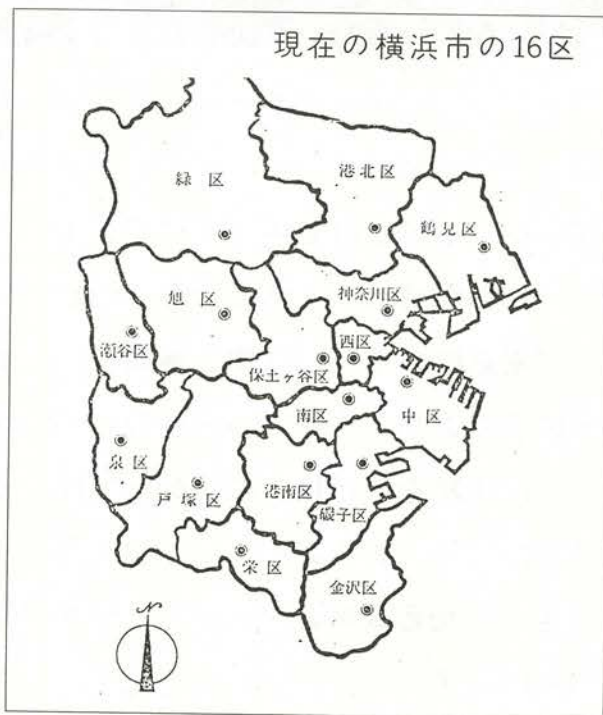
(1) 学校のあるところ

わたしたちの学校、横浜市立荏田南小学校は、神奈川県横浜市緑区にあります。緑区は、横浜市の北に位置し、まわりには、港北区・神奈川区・保土ヶ谷区・旭区・瀬谷区があります。また、川崎市や東京都町田市とも接しています。面積は、およそ76km²、人口は、およそ44万人です。

緑区は、鶴見川を中心にした平らな土地に、工場地帯や広い田園地帯が広がっています。また、港北区と接する地域では、新しい町づくりが、計画的に進められています。区内を通るJR横浜線や東急田園都市線の沿線には、住宅地や商店街が集まっています。さらに第三京浜や国道246号線東名高速道路、産業道路などの主要道路が通っています。これらの鉄道や道路は、人々や産業を他地域と結ぶ大きな役割を果たしています。1993年3月には市営地下鉄線も新横浜～あざみ野間で開通しました。

荏田南小学校の学区は、緑区の北の方にあり、港北区と接しています。児童は、荏田南一丁目、二丁目、三丁目、大丸、葛が谷、平台、高山の広い地域から、学校に通ってきます。

学校のまわりは、おもに住宅地で、公園や緑の木々が多く、静かな環境にあります。



(2) 学校から見たわたしたちのまち

屋上から わたしたちのまちを見てみましょう。

東



学校のすぐ近くの集合住宅は、しいの木台ハイツです。しいの木台ハイツのうしろ側には、かしの木台ハイツがあります。この2つの住宅地域は荏田南小学校と同じ1978年にできました。2つの住宅地域は、木々で囲まれ、その緑地は、「鴨池公園」へとつながっています。

そうてんでっとう
送電鉄塔の下は、片側3車線の広い道路で、江田～新横浜間を結ぶバス道路でもあります。この道路のバス停近くには、お店や銀行があります。さらに道路を、新横浜にむかって行くと、荏田南一丁目、葛が谷、平台の各地区になります。

遠くに見える集合住宅は、けやきが丘住宅で、隣の^{どな}荏田東第一小学校の学区です。

西



反対の西側は、荏田南二丁目、三丁目です。この地域は、少しずつ、住宅が増えてきました。まだ、ところどころ、空いている土地や、工事中の土地があります。住宅地の近くには、さくら公園、どんぐり公園など、子どもたちが、遊べる公園があります。

二丁目と三丁目の間は、広い道路になっており、バス路線です。道路に沿って、飲食店やコンビニエンスストアができてきました。二丁目と三丁目の間は、歩道橋がかかり、荏田南小のまわりの遊歩道ゆうほどうとつながっています。

三丁目のむこうには、荏田西地区や市が尾方面が見えます。また、冬の晴れた日には、遠く丹沢山地や雪をかぶった富士山を、くっきりとのぞむことができます。

南



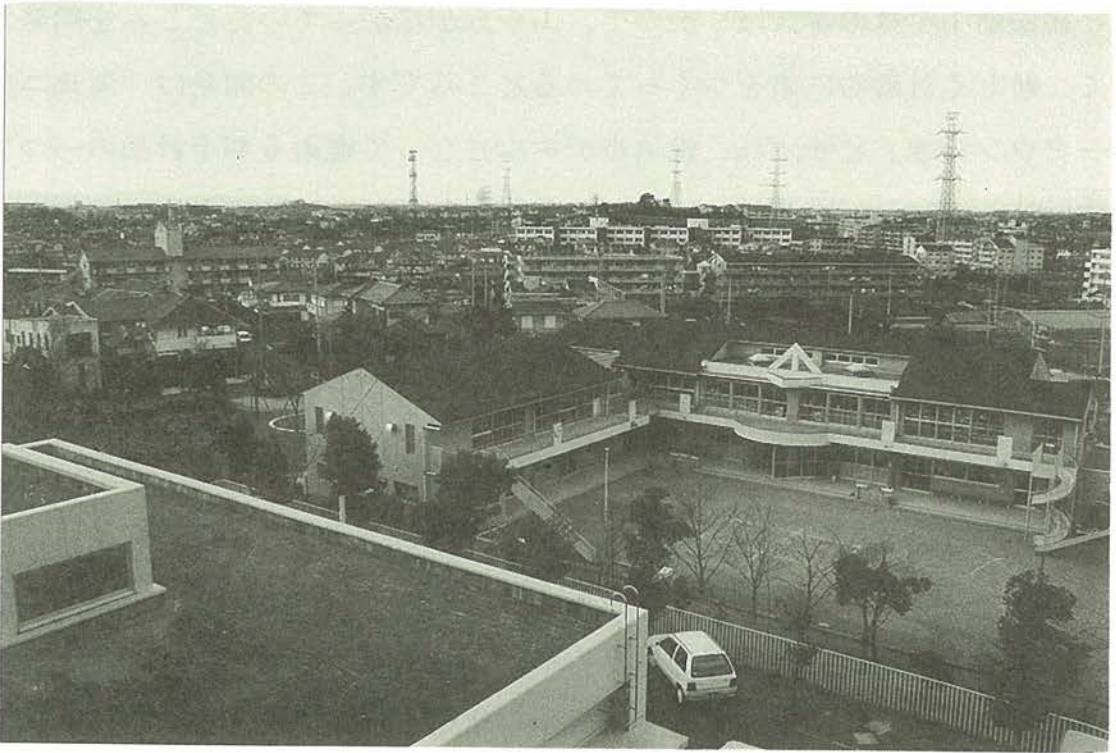
すぐ、となりの荏田南中学校が見えます。荏田南中学校は、荏田南小学校と同じ1983年9月に、開校しました。校舎の色も、おそろいのフラミンゴ色です。2つの学校は、門が、いっしょで、遊歩道をへだてて、ならんで建っています。

中学校のうしろには、牛が谷運動公園や、会社の運動場があります。さらにそのむこうに、大丸地区があります。メゾン桜が丘の住宅地域も、この地区です。

小学校と中学校のまわりは、遊歩道でかこ囲まれています。この遊歩道は、しいの木台地域の横からメゾン桜が丘地域へと続いています。そして鴨池公園にも、遊歩道を歩いて行くことができます。

遠くに見えるしまもようの煙突は、えんどう平台にある市環境事業局北部工場かんきょうじぎょうきょくです。

北



北側には、荏田南幼稚園やみのり公園があります。北側の二丁目から、三丁目にかけては、荏田南小学校ができたころは、住宅がぽつんぽつんと建っているだけで、ほとんどが空地でした。遠くに見える県立荏田高校と学校近くの畑を作っている農家が、わずかに目印となるだけでした。だんだん住宅がふえて、今のようになりました。

送電鉄塔の下は、学区の東側を通る江田～新横浜間を結ぶ広い道路で、国道246号線に出ます。また、東急田園都市線の江田駅へと、むかっています。

このように、荏田南小学校のまわりには、住宅地が広がっています。そして、公園があちらこちらにあることが、わかります。

(3) 土地のようすや使われ方

荏田南小学校の学区は、かつて、山や丘が広がっていたところを開発して、新しく計画的に街をつくっているところです。この開発は「港北ニュータウン計画」と呼ばれ、横浜市が中心となって進める都市計画の一つです。

港北ニュータウンの開発にあたっては、

- ① 自然をむやみに、こわすような開発はしないこと
- ② 都市農業を、地域に根づくようにすること
- ③ 住んでいる人々と話し合っって開発を進めること

という、大きな柱があります。

それで、港北ニュータウンの街づくりは、

- ① 公園や緑道、農業用地などの緑をできるだけ保存する。
- ② 開発前に、山や丘にあった木々を新しく公園に植えかえたり、自然のわき水を利用したせせらぎを、つくったりして、住んでいる人々の「ふるさと」となるような街づくりをする。
- ③ 歩行者専用道路や歩道橋で、住宅地を結んだり、遊水池を作ったりして、安全な街をつくる。
- ④ 公共しせつや文化・健康・余暇しせつを整備したり、交通網を整備して交通の便をよくしたり、商業地をつくったりし、住んでいる人々がいろいろなサービスを受けられるようにする。

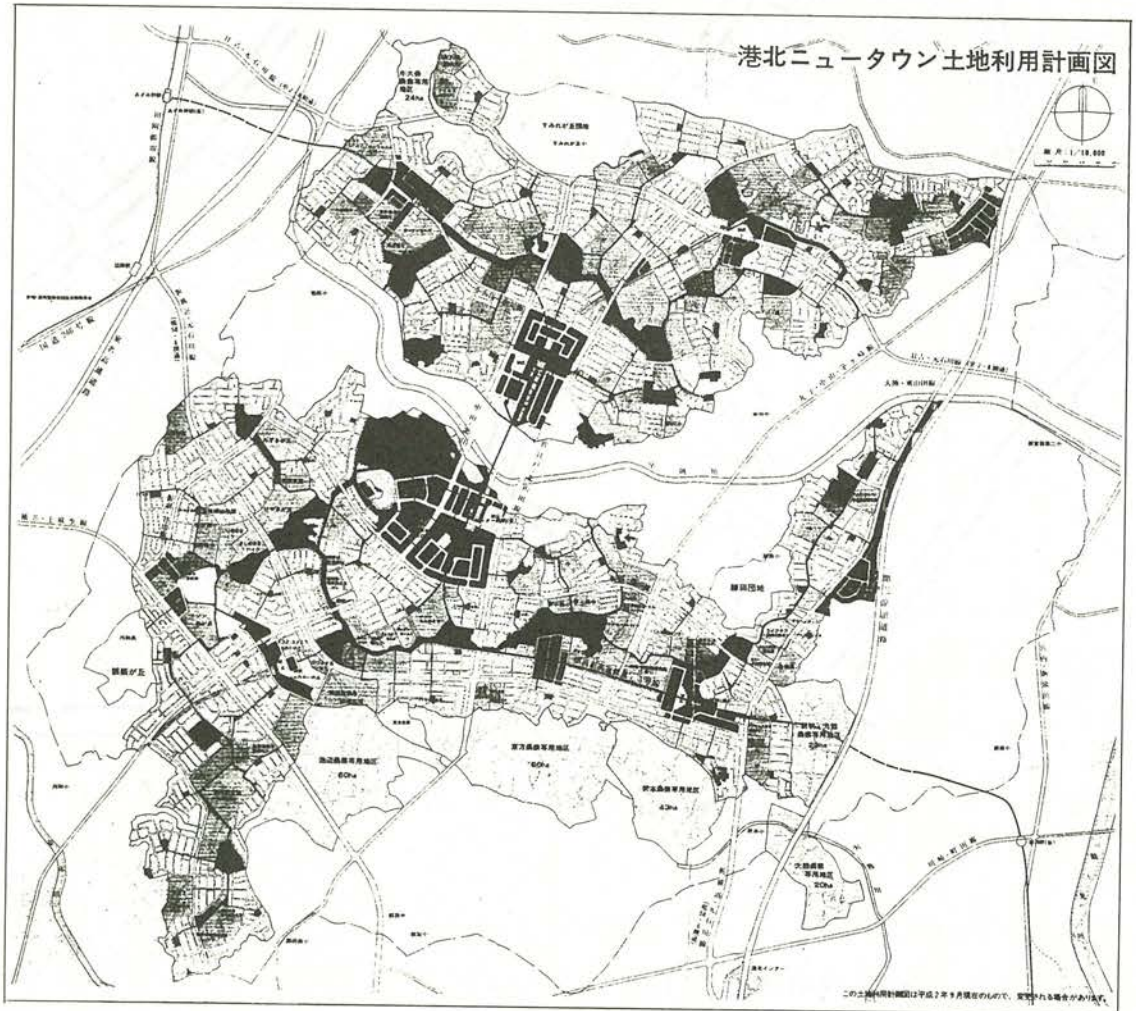
というように、くらしている人々が便利にすごせるような工夫がされてきています。

学校のまわりに、公園や緑が多かったり、遊歩道を歩いて、校外学習に出かけられたりするのには、計画的に、まちが整備されてきたからです。

荏田南小学校の学区は、港北ニュータウンの中の一部です。ニュータウンの開発は、だいぶ、進んできましたが、みなさんが「工事中」の立札

をよく見かけるように、これからも、さらに新しい街づくりが進んでいくでしょう。

港北ニュータウン土地利用計画図



学区とまわりのようす



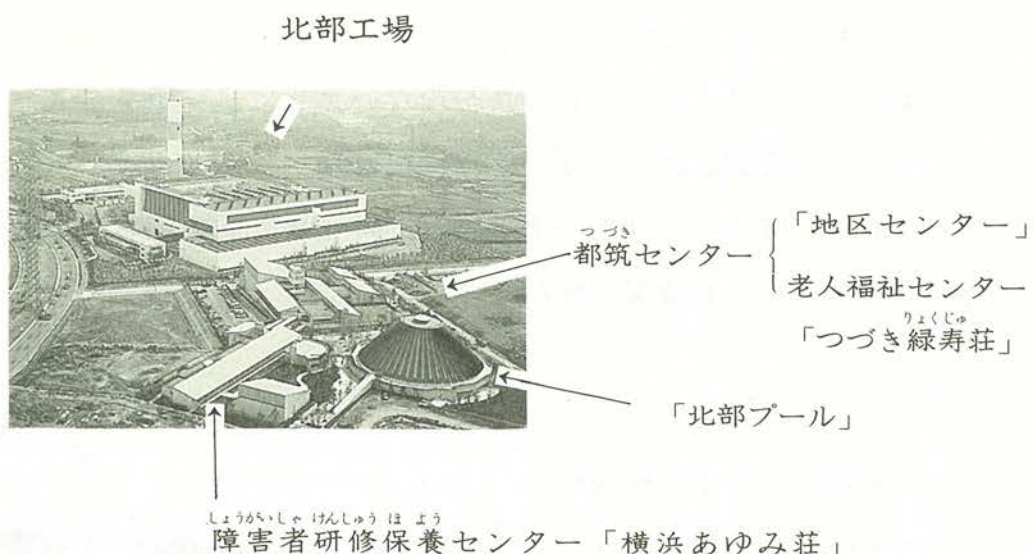
- 1、学校の位置を ^{いち} しらべましょう。
- 2、学校のまわりの土地の使われ方を しらべましょう。
- 3、道路について しらべましょう
- 4、公園について しらべましょう。
- 5、みんなが使うしせつについて しらべましょう。

2、住みよいわたしたちのまち

わたしたちの学校や家の近くには、どんなしせつがあるのでしょうか。
まちの人々がそれらをどのように利用しているか調べましょう。

(1) 北部工場とつづきふれあいの丘のしせつ

4つの大きなしせつが みんな北部工場の近くに集まっているのは、なぜでしょうか。



そのわけは、上のしせつは、すべて、北部工場でごみをもやす時に出る熱（余熱）を利用しているからです。

まちの人々がいつでも楽しく使えて、“ふれあい”を広げられるようにという目的で、しかもまわりのかんきょうによく合うように考えてつくられました。

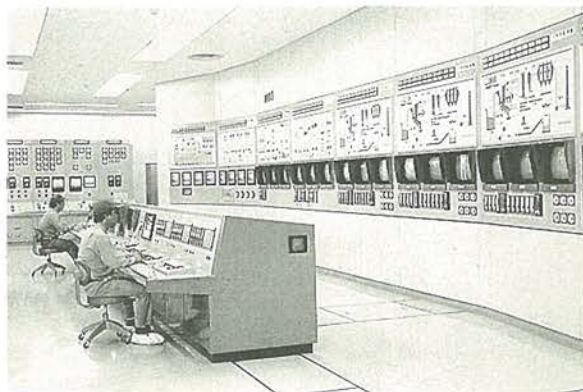
① 北部工場（ごみをやいて、しよりする工場）

4つのしせつのもとになっている北部工場とは、どんな工場なのでしょうか。

- 昭和59年3月に5年間かけてでき上がりました。費用は約287億円かかったそうです。
- 現在（平成4年）では、横浜市にある5つのごみ焼きゃく工場の中で、もっとも新しく、もっとも大きく、もっともごみをもやす力のあるすぐれた工場です。
- 工場では、まちの人々のくらしに害を出さないように、いろいろと工夫をしています。（いやなにおいが出ないように、うるさい音が出ないように、有毒ガスが出ないように、空気をよごさないように、灰がとびちらないようになど）
- 仕事は、ほとんどリモート・コントロール方式で機械がするので工場内はとても清潔で静かです。

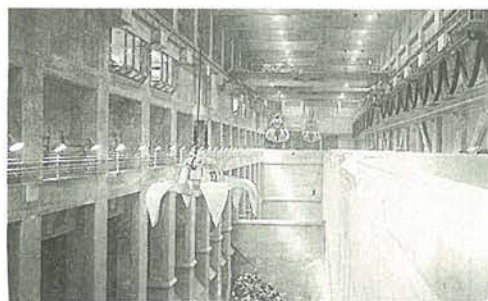
ちゅうおうかん せいしつ 中央管制室

工場内のすべての機械の動きがここで管理されています。ごみのもえる様子が一目で分かります。



ごみピット

外から運びこまれたごみはここにためておきます。



- ・ごみ焼^{しょう}きゃくによって発生する熱はふれあいの丘のしせつの冷だんぼうや老人が利用できるおふろ、しょう害者利用のおふろ、温水プールなどに利用されています。また熱エネルギーを電気にかえて工場とふれあいの丘の4つのしせつで利用するほか、あまった電力は、電力会社に送っています。

② ふれあいの丘の4つのしせつ

1. 北部プール

工場の余^よ熱^{ねつ}を利用した温水プールとしては、横浜市では、旭^{あさひ}・港南^{こうなん}・南戸塚^{みなみとつか}・保土ヶ谷^{ほどがや}について5番目にできました。一年中、大人から子供まで、たくさんの人々が利用しています。

平成3年度プール入場者月別集計表

月	昼 間	夜 間	計
合 計	276,792人	42,042人	318,834人
1月平均	23,066人	3,504人	26,570人
1日平均	854人	130人	984人

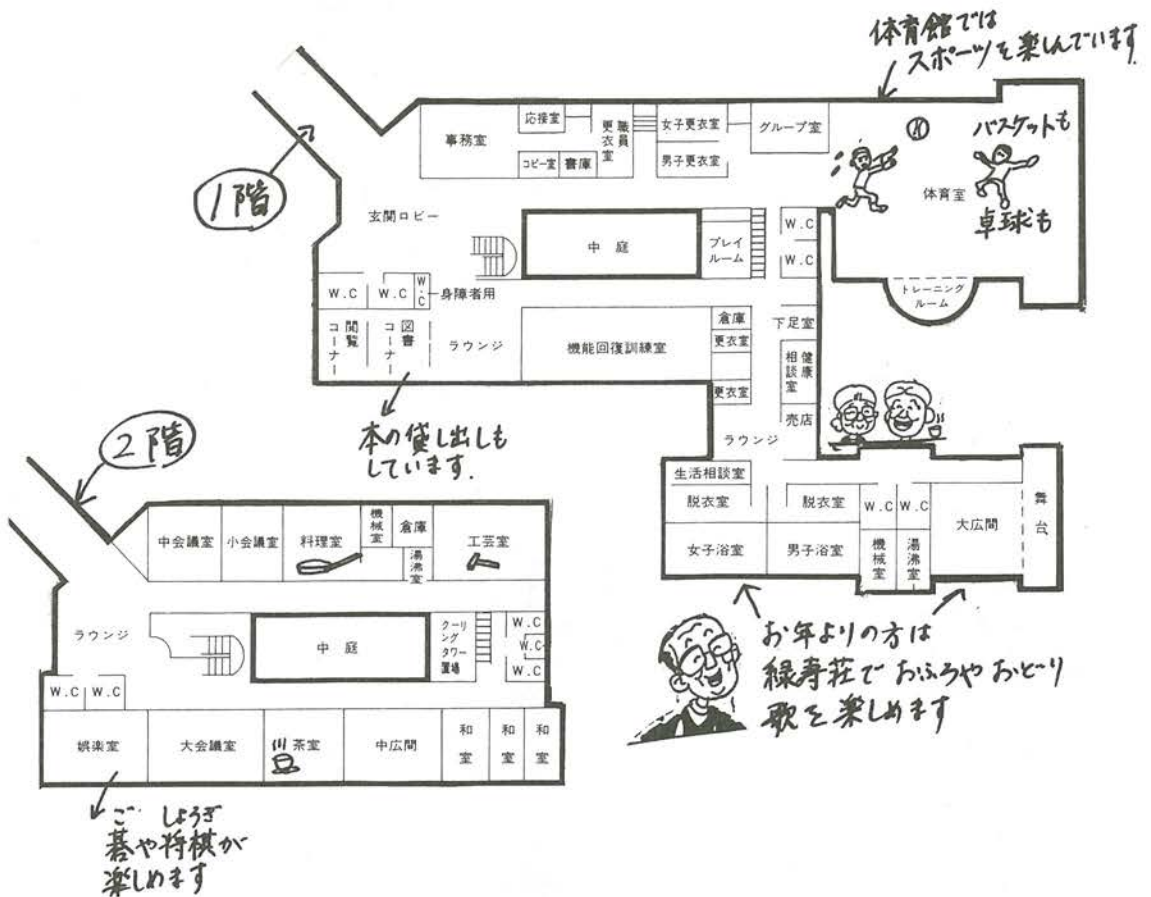


25m プール
 児童用プール
 ちびっ子プール
 サウナルームなどが
 そろっています。

2. 都筑センター（「地区センター」・「つづき緑寿荘」^{りょくじゅそう}）

地いきの子どもからお年よりまで、すべての人が気軽に利用^{きがる}でき^{りよう}るしせつです。読書・話し合い・スポーツ・レクリエーションなどを通じてなかまづくりやふれあいを深める、交流^{こうりゅう}の場として多くの^こ人々に利用されています。

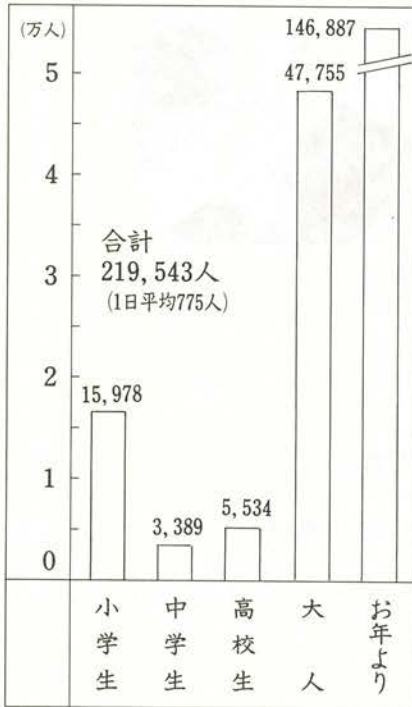
都筑センターの平面図



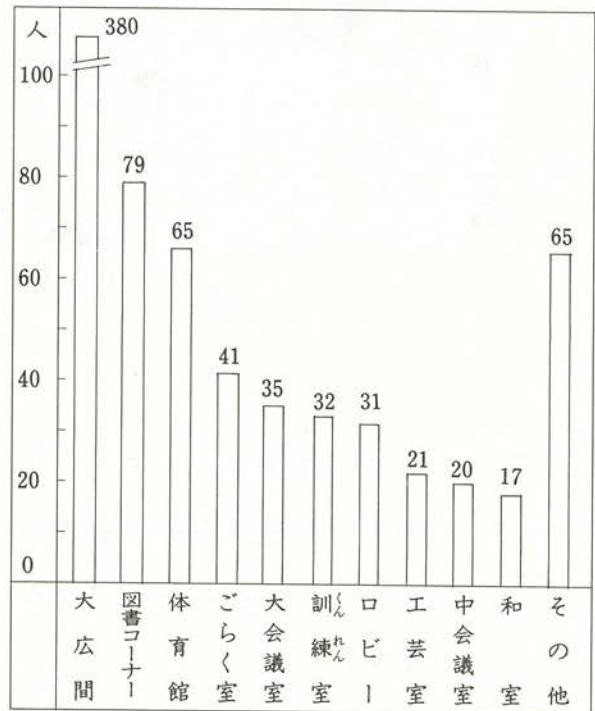
都筑センターの利用のようす

都筑センターでは、どんな人が、何人ぐらい利用しているのでしょうか。またどんな部屋の利用が多いのでしょうか。

利用のうちわけ
(1年間)



へや別利用のようす 平成3年度
(1月平均)

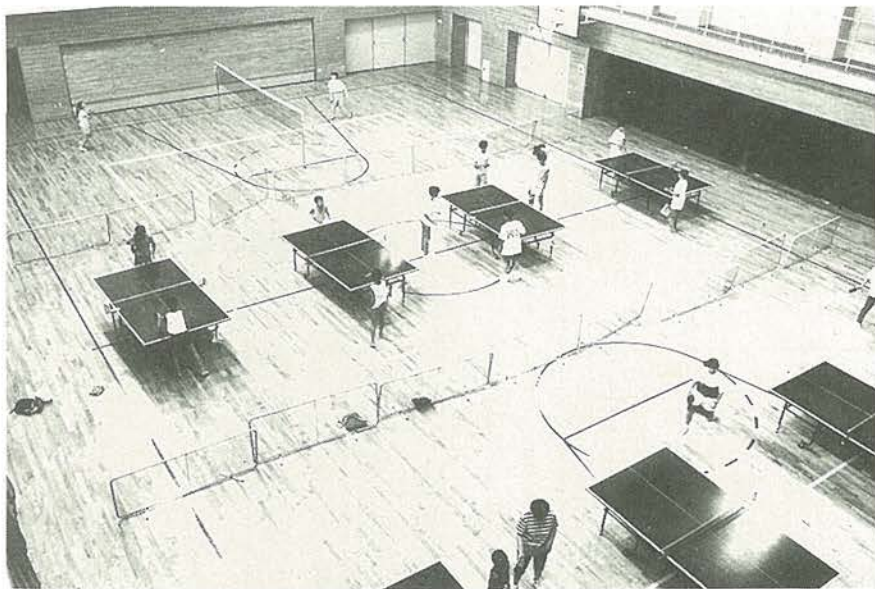


(緑区の人だけでなく、区外からも大ぜいの人々が利用しています。)

地区センターでは、たくさんのおもしろい活動があります。

- しゅみの教室 (日本画・書道・英会話・男の料理・ダンスなど)
- 講座 (カメラ入門・手すきはがき・子育て など)
- コンサート
- ワンパクサタデー (ちびっこ工作広場)

など、ほかにもいろいろとあります。



体 育 館

3. 障害者研修保養センター「横浜あゆみ荘」
しょうがいしゃけんしゅうほよう

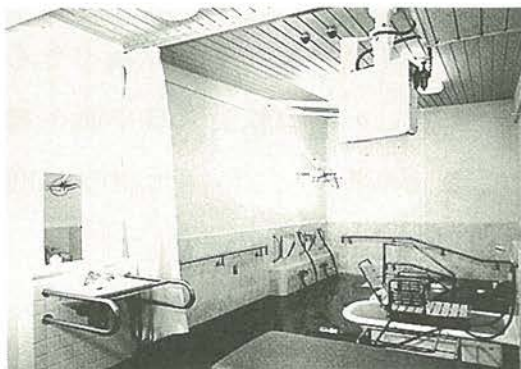
障害のある方やその家族の方がみんなで学んだり、しゅくはく宿泊して
 ゆっくりくつろいだりできるように、すみずみまでくふう工夫されて
 います。



和 室

和 室

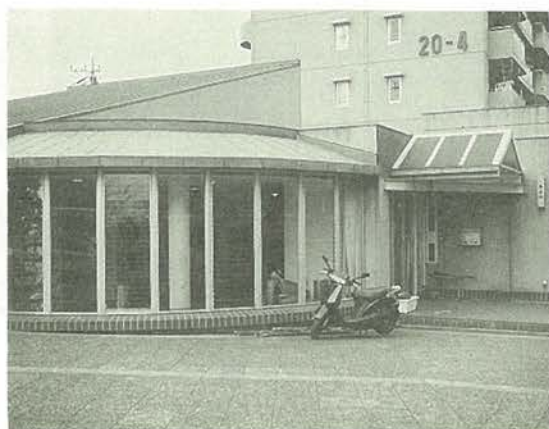
リフトつき浴室



(2) その他のしせつ

町内会（自治会）にも、みんなのためのしせつがあります。
どのように利用しているのでしょうか。

① 集会場・会館



しいの木台、かしの木台集会場



メゾン集会場



2丁目自治会館

お父さんたちの
話し合いや、子供会の
行事やならいごと
などにいろいろに
利用しているよ



② 公園

わたしたちのまちには、たくさんの公園があります。

公園と公園は、^{りょくどう}緑道でつながっているのです。安心して遊んだり、さんぽを楽しんだりできます。



かも池公園



まんまる公園

水鳥のいこいの場 カルガモは
1年を通して見られます。また
いろいろな^{やちょう}野鳥のすみかです。

学校からもみんなで時々出かけて
楽しくすごします。

ささぶねのみち



ここで
ザリガニとりも
できるんだよ

どの公園のまわりにも緑の木がたくさん植えられていて、人々にやすらぎをあたえてくれます。

(3) 住みよいまちづくり

わたしたちの地いきでは、すみよいまちをつくるために町内会（自治会）や子ども会をとおして、いろいろな活動をしています。

荏田南小学校区で行なわれている^{きょうつうてき}共通的な行事です。

行 事	場 所	月 日
し 獅 子 舞	荏田南2丁目ほか	1月3日
ど ん ど や き	うしがやど 牛ヶ谷公園	1月15日
夏 ま つ り	多目的広場	(本来は14日)
ク リ ス マ ス 会	荏田南小学校	8月末の土・日
も ち つ き 大 会	各地区子供会	12月
	各自治会	12月



夏まつり

毎年、せい大に行われています。

3. 3. わたしたちのまちの商店

(1) 近くの商店のようす さんりん 〈荇田南近隣センター商店街しょうてんがい

○わたしたちは、どこで、どんな買い物をするか調べてみましょう。



さんりん
近隣センター
商店街 全景

近隣センターふ きん
スーパーマーケット

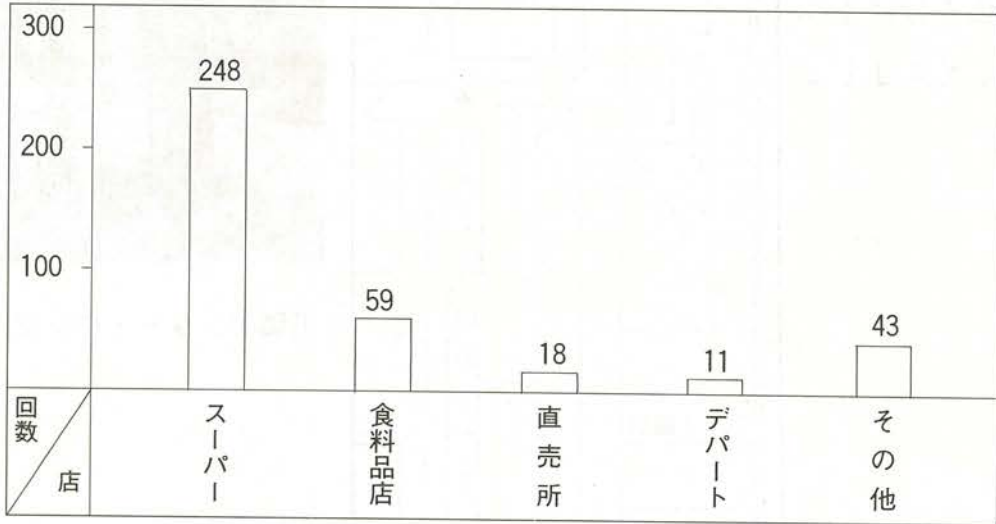


スーパーマーケット
で買い物をするお客
さん

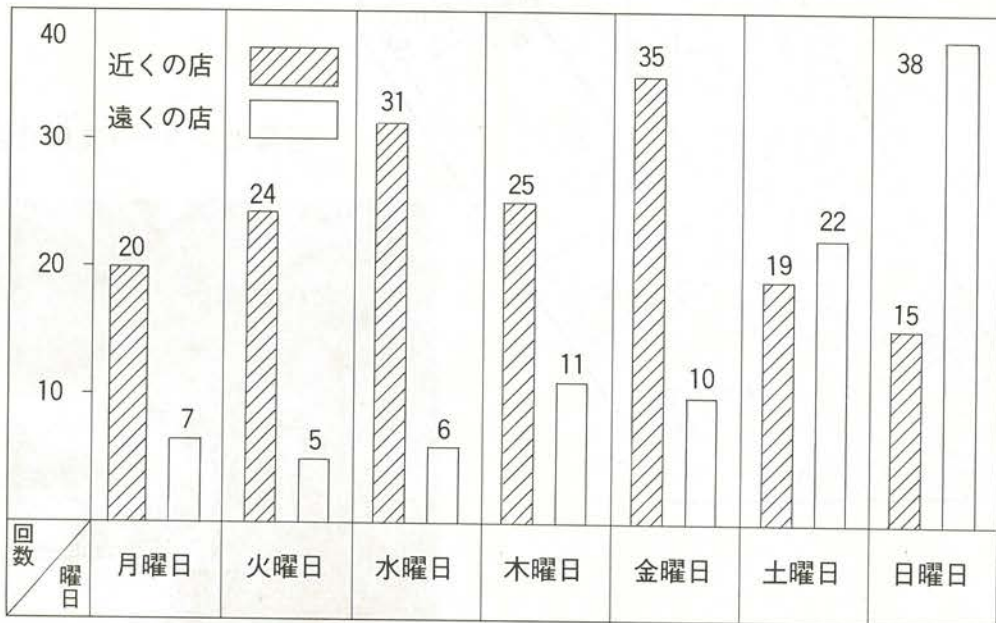
(2) 店の利用調べ

○買い物をするとき、どんな店を利用しているか調べてみましょう。

店ごとの買い物調べ (3年生の1週間分)



曜日ごとの買い物調べ



— 近隣センター 絵地図 —

○センターには、どんなお店があるか
調べて書きこんでみましょう。

お店の種類ごと
に色で分けくふ
うしてみましょ
う。



近隣センター・パン屋

近隣センター・ぶんぼうぐ
文房具店



(3) いろいろな売り方



新鮮な野菜や果物を売れる分だけ
トラックで積んで来て、人の集まりそうな
場所で売る店

一日中 開いているので、
夜でも買い物をすることが
できるコンビニエンスストア。
食料品から文房具まで、多種類の
品物を売っている。



新鮮な食料を大量に買うことが
できるディスカウントスーパー

(4) 商店のくふう



店の入り口には、^{えいぎょう}営業時間か、かいてあります。



ごみ箱

(商店がいをきれいにします。)



入口に、本をならべたり
ポスターをはったり、く
ふうしています。

広場

(商店がいの中には、ひと休み
したり、小さい子が遊んだり
するところがあります。)



ちゅう車場

(ナイスで買い物する人が利用します。)

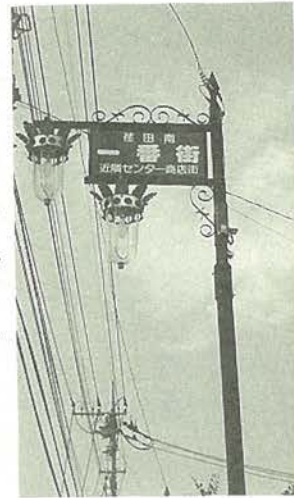


ちゅう車場

(駅前であり有料です。商店がいには、ちゅう車場が少ないので困っています。)



ちゅう車
きんし
(あちこち
のお店の前
においてあ
りました。)



がいとう

(暗くなっても
買い物ができ
ます。)



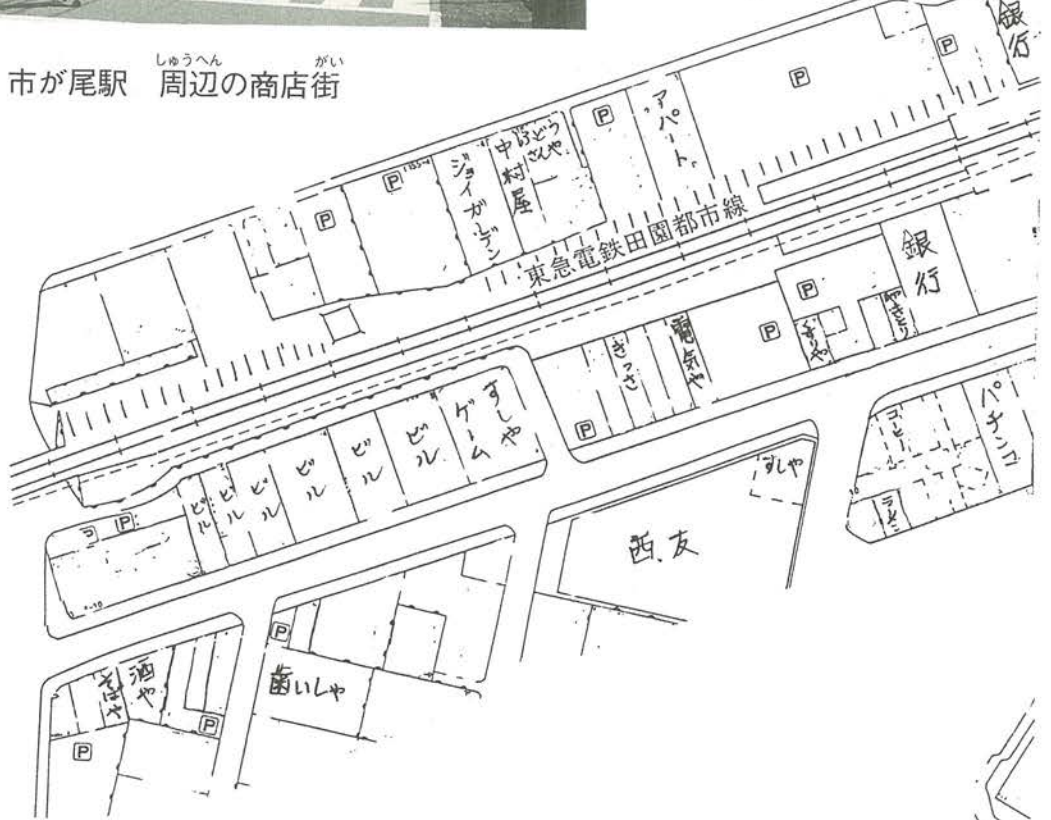
自転車置き場

(西友の自転車置き場
駅の近くなのでおき
っぱなしにする人も
います。)

(5) 大きな商店がい

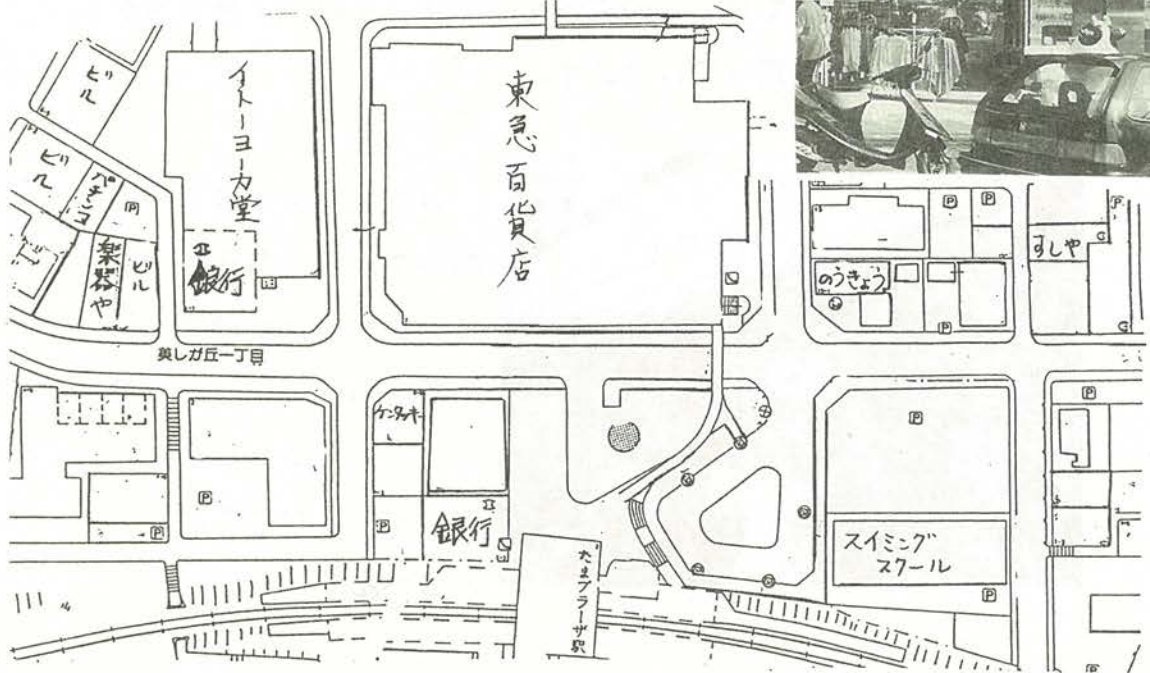
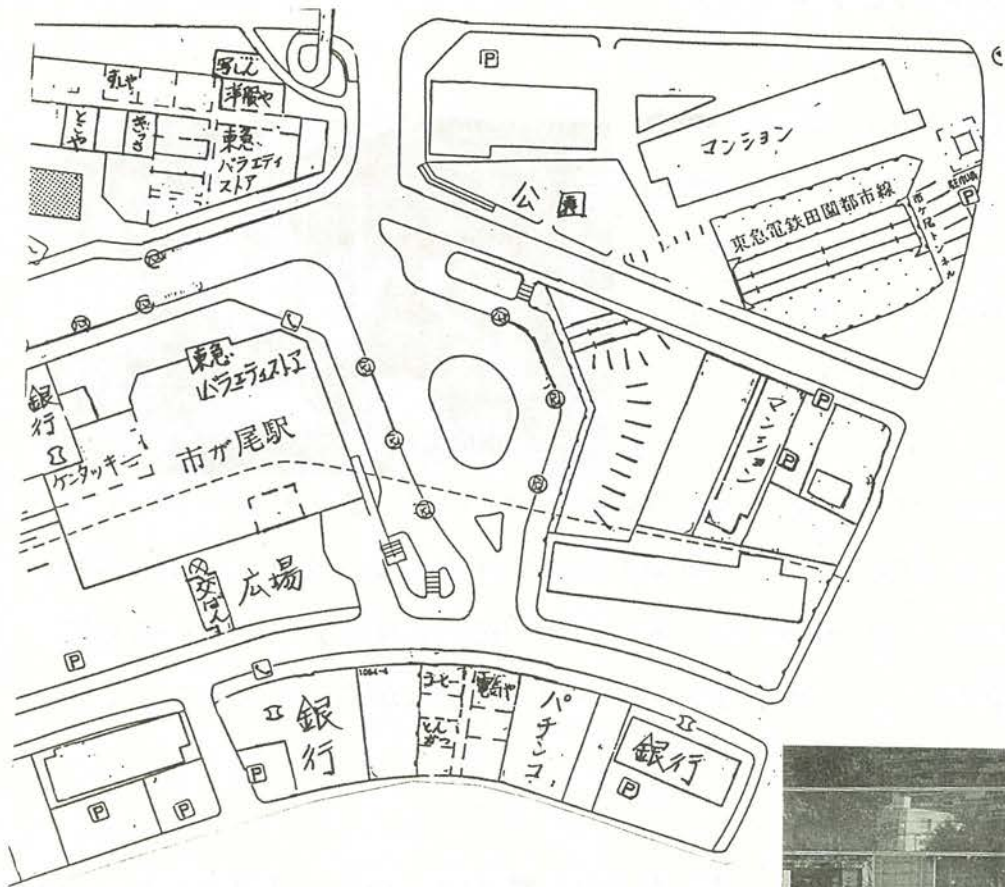


市が尾駅 周辺の商店街



市が尾駅
周辺の
駐車場





(6) 買い物をする人の声

○近くのお店には、よく行きます。毎日のおかずや、食料品、ふだん使う日用品などを買うのです。お店が近いと、とてもべんりです。



○市ヶ尾やたまプラザに買い物に行くのは、土・日曜が多いです。ふだん荏田南で買えない電気せい品や洋ふくなどを買います。品物の種類しゅるいが多いので自分の気に入った物が選べます。お店も多いので買い物も楽しいです。大きなデパートは、おとなからこどもまで楽しむことができます。

○スーパーマーケットは、肉、魚、野菜、パン、日用品など、いろいろな物が一つの店で買えるのでべんりです。それに、ちやうしゃじやう駐車が場があると車で来てたくさん買って行けます。

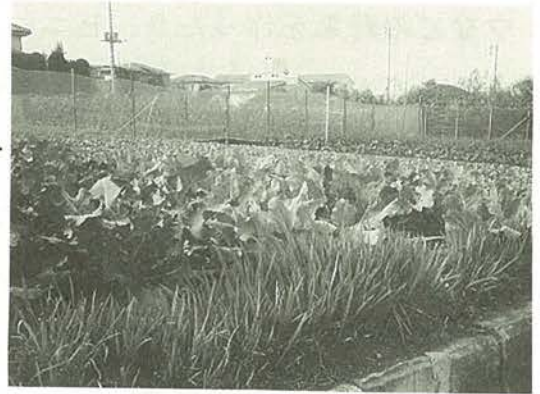
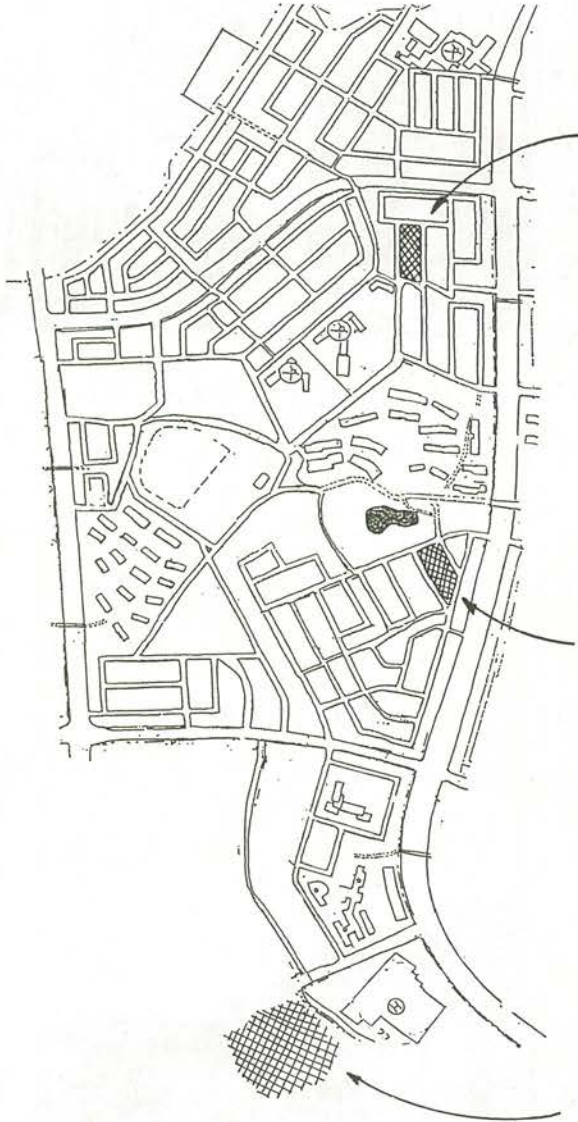


○コンビニエンスストアは、朝早くから夜おそくまでやっています。仕事の帰りがおそくてもあいているので助かります。電子レンジやコピー、ファックスなどもあって、とてもべんりです。

5. わたしたちのまちの生産^{せいさん}

(1) わたしたちのまちの農業^{のうぎょう}

① まちの畑



2丁目にある畑



1丁目にある畑



北部工場奥にある畑
(池田地区)

特に、池辺地区は、昭和48年に土地改良が行なわれ、農業専用の地区となっている。現在、農地60haに、約160戸の農家が、野菜や植木、果物を育てている。

② 野菜を作っている農家

○串田さんの農家

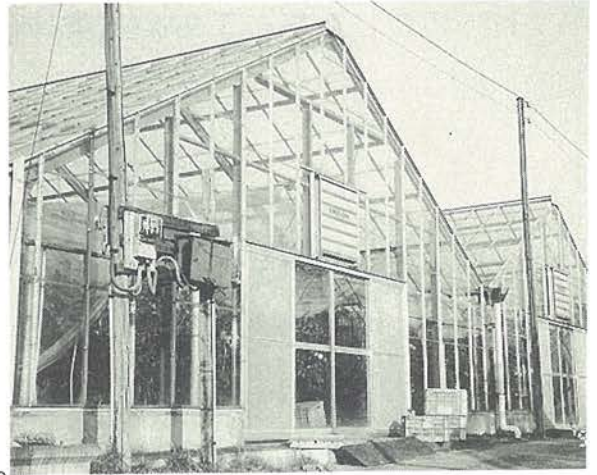
池辺地区で、農業をしている串田さんは、畑でキャベツ、ホウレンソウなどの野菜を作ったり、ビニールハウスでトマトの水耕栽培すいこうさいばいをしている。水耕栽培とは、土の代わりに水を使ってトマトを育てているのである。ハウス中にポンプで水を流して



出荷しゅっかのための作業をしてから、横浜よこはま中央卸売市場ちゅうおうおろしうりいちばに運んでいく。

ハウスの中は、冬はあたたかいが夏は暑くて、たいへんな労働ろうどうであるが、いろいろなくふうをしている。

都会に近い農業として、これからがきたいされている。



いる。

ひ料をやる時は水にまぜ合わせてやる。

ぼうや上からつるしたテープを支えにして、大きく成長していく。

トマトの取り入れは年2回である。

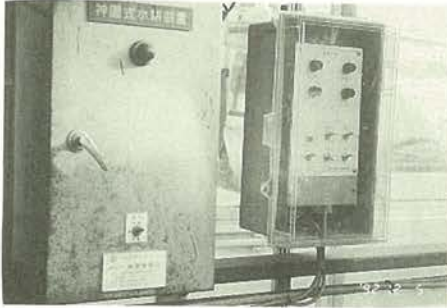
5～6月と11～12月である。取り入れが終わった所から、たねまきをして、次の栽培のじゅんぴをする。

トマトを取り入れると、トラックに積み



○トマト作りの工夫

ハウス内には、トマトを育てるために、さまざまな設備が^{せつび}整^{どこの}っている。



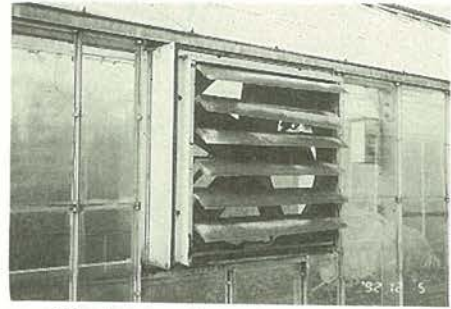
〈コントロールスイッチ〉
(室温などを調節する)



〈トマトの根の部分〉
(下を養分を含んだ水が通る)



〈げた〉
(高い所の作業に使う)



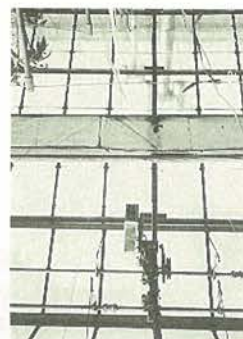
〈換気せん〉
(夏場の温度調整に使う)



〈暖房機〉
(冬場、室温調整に使う)



〈ポンプ〉
(ハウス内に水を送る)



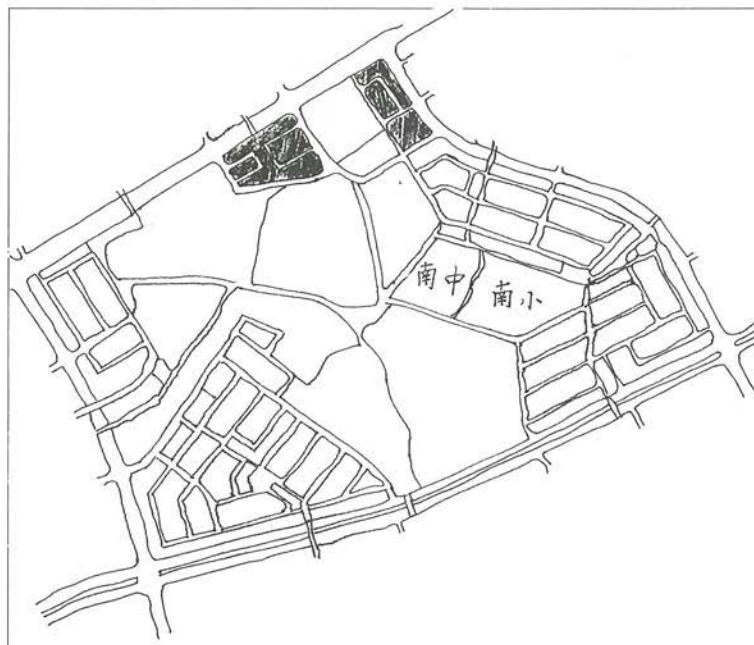
〈屋根の部分〉
(自動的に換気する装置)



〈ハサミ〉
(取り入れに使う)

(2) わたしたちのまちの工場

①学校のまわりの工場



わたしたちのまちでは、工場を見ることは少ない。大きな工場ではないがこの地区に工場がいくつかある。それぞれそう音などに気をつかいながら、大きな工場を支えているというやりがいのある仕事をしている。



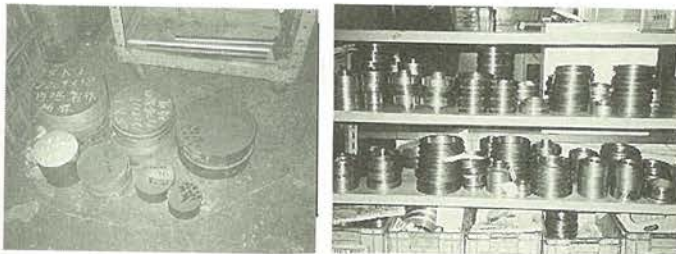
②内堀製作所の製品が出来るまで

^{うちぼり}
内堀製作所は、プーリー（ダンパー）と呼ばれる車関係の部品をた
めに作ったり、その型を作ったりしている工場である。

○ざい料が入る。



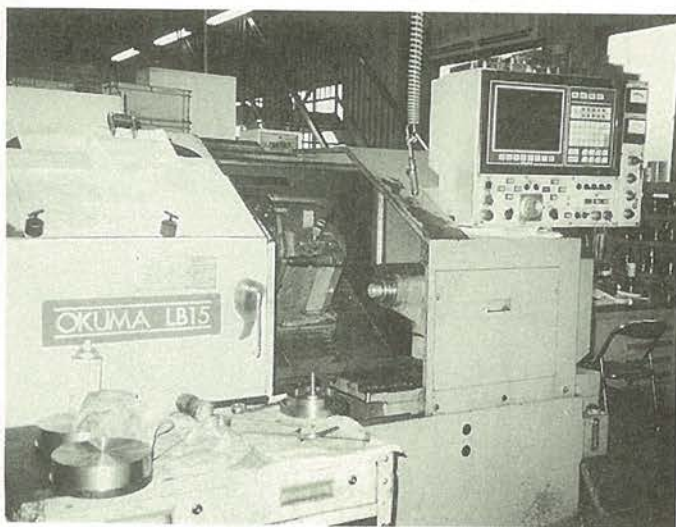
アルミ
いもの
鉄



○加工する。



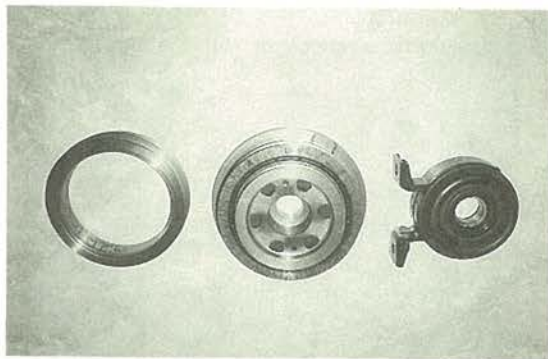
2～4^{こうてい}工程で
ロボットが削る。
じく
軸とか細かいものが
あると工程がふえる。



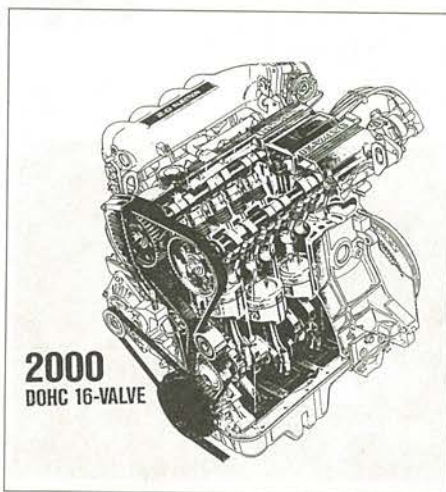
削るロボット

○せい品が出来上がる。

毎日、親工場にトラック
でせい品をとどける。
この工場のほかにも、^{とっどり}鳥取と
長野に工場がある。



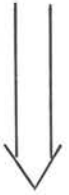
〈出来上がったせい品〉



③中村製作所の製品が出来るまで

中村製作所は、おもに車や電話器のプレス金型を作っている工場である。
金型から部品までを作ることもある。

○設計をする。



出来上がりの図が来るので、
それを展開し、設計図をかく。

○ざい料を集める。



鉄、焼きのはいた鉄

○加工する。

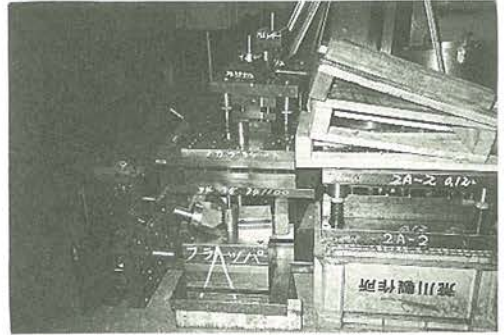


とかして切る。
あなあけ
けずる

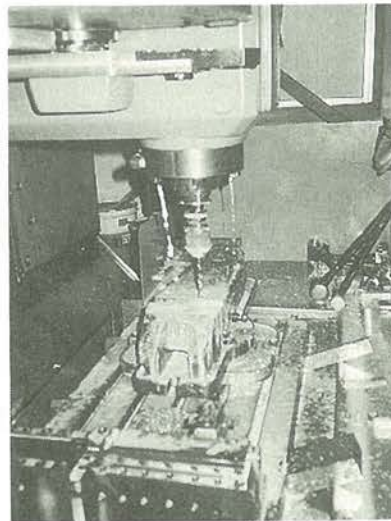
○せい品が出来上がる。

プレス金型

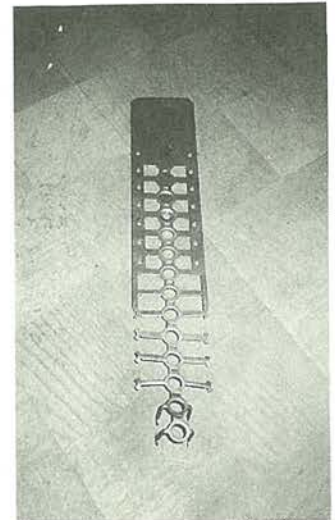
車や電話の部品



〈ざい料の鉄のかたまり〉



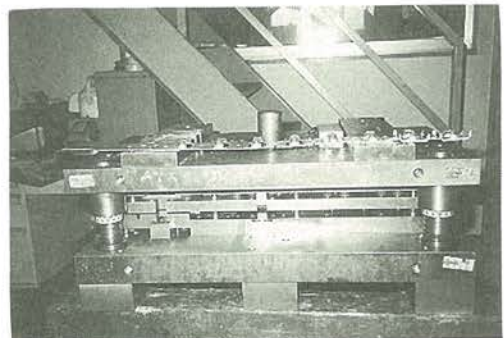
〈ロボット〉



〈出来上がりの過程^{かてい}〉



〈出来上がったせい品〉

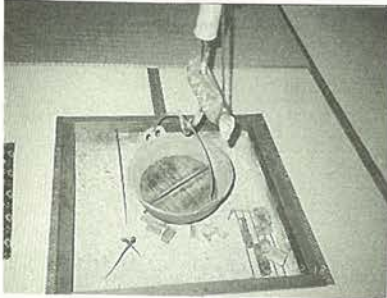


〈出来上がったせい品(金型)〉

5. わたしたちのまちにある昔さがし

(2) 昔の人々が使った道具

○日常生活で使った物 (道具)



いろり



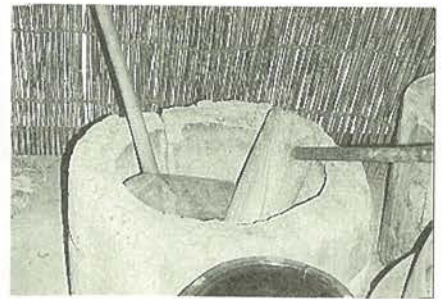
糸車



みの



農家の茶の間



きね・うす



かま



吸水ポンプ



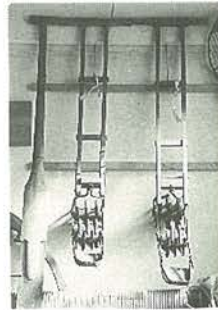
米びつ

○米作りで使った道具

米作りのしごと	きせつ
たねまき なえ作り	
田おこし	
しろかき	
田うえ	
しょうどく 草とり	
いねかり かんそう	



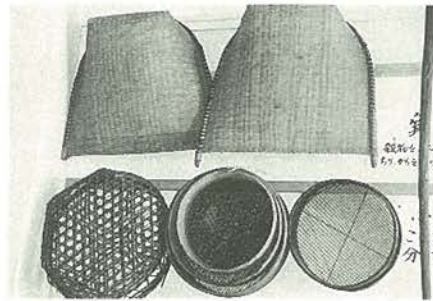
(すき)



(すき)



(田植えじょうぎ)



(いろいろな 農具)

○ 現在、使われている道具 ○



(トラクター)



(田植え機)

だっこく

・ほを おとす



・もみと わらくず
を わける



・もみの かわを
とる。



せい米
(白いこめにする)



(せんば こき)



(だっこく き)

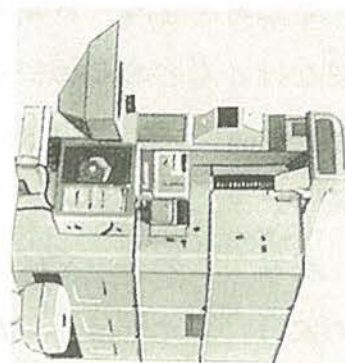


(せんぼう き) (とう み)

○ 現在、使われている道具 ○



(コンバイン機)



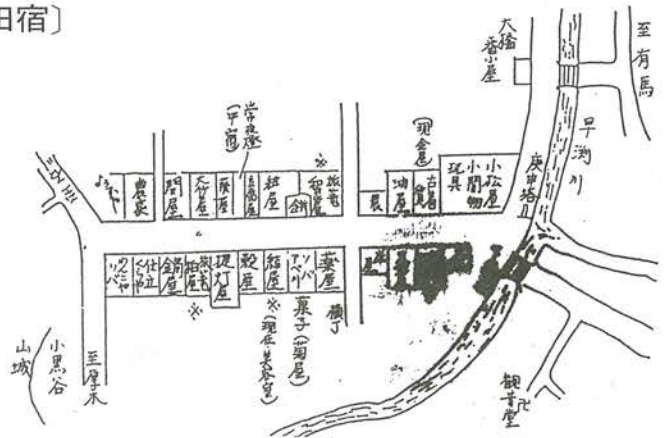
(かんそう機)

(2) 地いきに残る昔



〔江戸時代末期の荇田宿〕

江戸時代の荇田宿は、右図の様に、十八軒の商家が街道筋に並んでいた。この荇田宿には、旅籠三軒を含み、日常生活に必要なほとんどの品物がそろう商家があった。荇田宿は江戸を朝発つと一泊目の夕に着く宿といわれている。



現在、この荇田宿には、江戸時代から代々続いている家が多い。これらの家は、地元では、今だに当時の屋号で呼ばれている。しかし、どの家も当時の“商”からとっくに転業し、関係のない生活をしている。

現在の緑区域は昭和14年4月1日の横浜市域拡張のための編入以前は神奈川県都筑群に属していた。

荇田は郡の北東に位置し、早淵川やその支流の赤田川・布川に発達した渋沢谷戸・柚木戸谷・小黑谷戸の各谷戸が、開折している。村内には、矢倉沢往環が通過し近世において馬継場がおかれた一宿場であった。その宿場は、早淵川と赤田川・布川が合流する低地に家並が形成されていた。

こうしんとう
庚申塔



庚申塔は、60日に1回巡^{めぐ}ってくる庚申（かのえさる）の日を祭るものです。人間

の体には「三し」という三びきの虫があり、庚申の日に人が眠っていると、この虫が体よりぬけ出て、その人の悪い事を天の神様に報告^{ほうこく}に行きます。そのため、虫が体よりぬけ出ないような人は、この日、夜明かしましたそうです。

ばとうかんのん
馬頭観音



馬頭観音は、馬の供養のために、江戸時代ごろよりたくさん建てられました。これは、道しるべにもなっています。

しんぶくじ
真福寺



つるぎ
剣神社



名前の由来は、鎌倉時代に炭焼夫が馬に炭を負わせ、はるばる鎌倉の刀鍛治^{かじ}に届けていましたが、良質の炭だったので、おかげで名刀がきたえられたと喜ばれ、その刀が贈られました。その炭焼夫は喜んで帰途につき、泉谷^{いづみや}にさしかかったところ、暑さ^{つか}と疲れから眠りこんでしまいました。その時松の梢^{こずえ}にひそんでいた大蛇^{だいじゃ}が、よき獲物^{えもの}とばかり、炭焼夫をひとのみとおそいかかったところ、ふところからぬけ出た刀が、その大蛇のノドをさし大蛇はのたうちまわってたおれました。九死に一生を得た炭焼夫は、これこそ宝刀として、この神社に祭りました。

でんとうげいのう
○伝統芸能



この囃子は、今から約 200 年位前から始まり「今年もお米がたくさん、
どれますように」と人々のごごくほうじょう五穀豊穡を願うおもいがこめられていて、もど
もどは神楽から発展したものとされています。戦争中は、いち時中断し



ていましたが昭和23年から復活し現在にいたっ
ています。

会のメンバーは、現在7名だけですが、この
昔から伝わる伝統を絶やすことなく後世まで伝
えていこうとする気持ちでがんばっています。

活動の場は、お正月の三日間と10月10日のつるぎ剣
神社の祭礼の時で神社の神楽殿で舞っています。

毎年、多くの人々がその舞いを楽しみにしてい
ます。



6. わたしたちのまちのうつりかわり

(1) 荏田南小学校ができる前の昔のようす

このあたりは、都筑郡と呼ばれた多摩丘陵地帯で先住民族の住居地でした。有史以前、東京湾がずっと入江となっていてこのあたりの谷まで海だった頃、古代人は丘でけものを追いかけて、海辺で漁をして生活していました。その住居跡や貝塚の遺蹟が当時を物語っています。恐らく入江に近く丘つづきのこの地は、とても住みよい土地であっただろうと考えられます。また、このあたりは江戸時代から庚申信仰がさかんであったため、地区内には、相当数の庚申塔が残されています。その他にも神社やお寺があることから、昔からこの地区は信仰心の厚いところであったことがわかります。みなさんの住んでいるこの都筑が丘、この地に都をつくらうという先人の夢が今、港北ニュータウンという形となって実現したのです。



昭和45年頃のようす



工事現場でスケッチする子どもたち

(2) 道路と交通について

○大山道

国道246号線の原形は江戸初期に開かれ「大山道」と呼ばれていました。赤坂御門を起点とし、青山、三軒茶屋、二子玉川、溝の口、荏田、長津田、鶴間、厚木を経て



足柄の矢倉沢まで続き、別名矢倉沢往還・厚木街道・青山街道・相州街道とも呼ばれています。大山道は大山詣をする人々が多く通った道で、大山は「雨降山」ともいわれ農民の雨乞い信仰と深く結びついていました。東海道と平行しているところから、その脇街道として富士山登拝の人々、下級武士などが利用したようです。東海道は大名行列の度に人々は土下座をしなければなりませんが大山道は、そういうわずらわしさもなく気楽な旅ができました。旅人が朝、江戸を出発すると、ちょうど夕方たどり着くのが荏田宿だったところから、大いに賑ったということです。



○八王子道

市ヶ尾で大山道と交っている横浜上麻生線も江戸時代は「八王子道」と呼ばれ、神奈川宿から佐江戸を通過して谷本川に沿って八王子へと続いている



ます。別名神奈川道・日野往還とも呼ばれています。大山道が庶民の交通路だったことに対し、八王子道は年貢、生糸を運ぶ農民の生活路としての役割がありました。川和には宿があって市が立ったそうです。

○東名高速道路

東京、名古屋を結ぶ大動脈で

あるこの道路は世田ヶ谷第八還

状線から多摩川を渡り、川崎の

向ヶ丘インターチェンジから、

相模平野を横切り、松田を経て

静岡に入ります。現在横浜には保土ヶ谷よりにインターチェンジが1つあるだけですが近い将来に市ヶ尾しんせつに新設される計画があるようです。



○新横浜元石川線

昭和58年6月4日午後2時に開通したこの道路は港北ニュータウン内で最初の都市計画道路で、新横浜から第三京浜道路を横切って北上し、ニュータウン地区を横断して東急田園都市線江田駅の前で国道246号線せつぞくに接続しています。



バス停荏田南

○東急田園都市線

昭和41年4月に溝の口^{みぞ}駅から長津田駅までが開通しました。

その後昭和59年4月には中央林間まで延びました。



○バス

荏田南のバス停から江田駅、市ヶ尾駅、新横浜駅までバスを利用する人が多いようです。本校児童のなかにもバス通学をしている人がいます。



江田駅



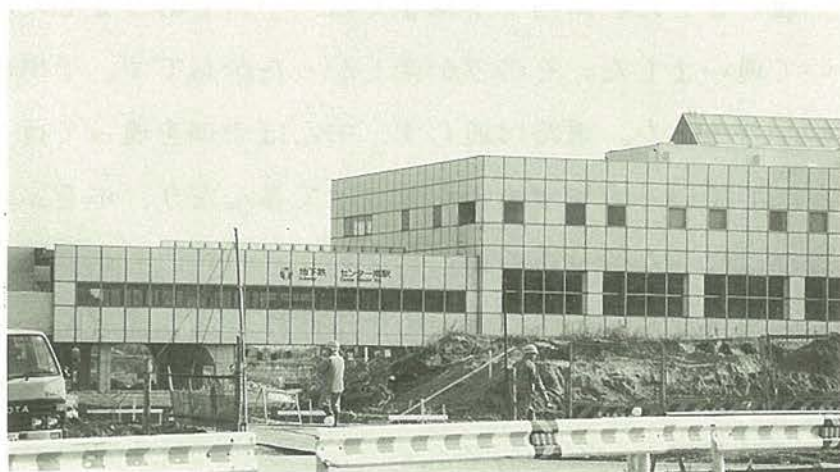
バス停 荏田南



○横浜市高速鉄道（通称・市営地下鉄）

昭和47年12月に上大岡～伊勢佐木町までの5.2kmで営業を開始したのが始まりです。平成5年3月からは新横浜～あざみ野間が開通しました。

駅舎のデザインは将来の街並みに合わせて、それぞれ特徴のあるものとなっています。また、全駅に、地表からホームまで車イスのままで行けるエレベーターやエスカレーターがあり、体の不自由な人も利用しやすくなっています。



センター駅



センター北駅



(3) 昔のお話

~~~~~山内小学校へ通っていたお父さんの話~~~~~

私は、子供のころ、今の荇田東第一小学校の学区に住んでいました。そのころ、荇田南小学校や荇田東第一小学校は、まだありませんでしたから山内小学校へ通っていました。荇田地区には、山内小学校の分校があったので、1年生から3年生までは、そこに通い、4年生になると山内小学校へ通いました。山内小学校までは、バスもありましたが、ほとんど毎日歩いて通いました。その方が楽しかったからです。子供の足で1時間ぐらいかかりました。道路は通らず、田んぼや畑を歩いて行きました。冬などは冬眠しているガマガエルを見つけて喜んだり、氷をふみながら行ったので苦にはならなかったです。私の父などの時代も山内小へ通ったようですが、私の祖父などの時代には、山内小学校もありませんでした。

私が小学生のころは、給食はありましたが、マキを使って給食を作っていましたから、家からマキを持って学校に行ったことを覚えています。荇

山内小・荇田分校のころ (昭和26年)



分校には、給食を作る設備せつびがなかったので、山内小学校で作った給食を小使こずかいさん（今の技術員ぎじゅついんさん）が、木のタルに入れて、自転車やリヤカーで運んでいました。坂があったので大変そうでした。1年生～3年生のころは、勉強している時に小使こずかいさんが、給食を運んでくる姿すがたが見えると、「そろそろ勉強も終わるな。」と喜よろこんだものです。

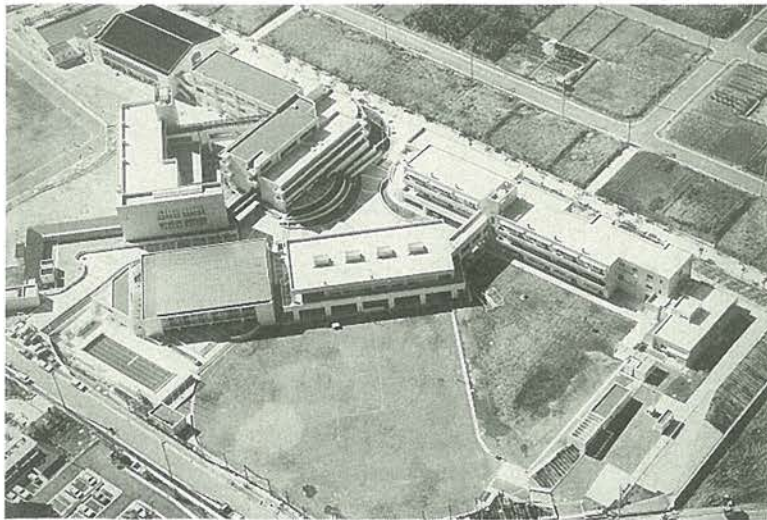
子供らの服装ふくそうは、洋服ようふくでしたが、足は、ゾウリ、ゲタ、クツとまちまちでした。くつ下ははいていませんでした。外で体育をやる時は、みんな、はだしてました。かさは洋がさばんでなく、番がさばんでした。

勉強は、今とだいたい同じですが、体育の時間などは、先生が「山へ行こう。」と言って、持ってきた弁当べんとうを持って近くの山へよく出掛けました。プールは、川和小にあったのですが、一夏ひとなつに一回だけ、川和小へ連れていってもらい、「これが水泳だ。」ということを経験するぐらいのものでした。

~~~~~山内小学校へ通っていたおじいさんの話~~~~~

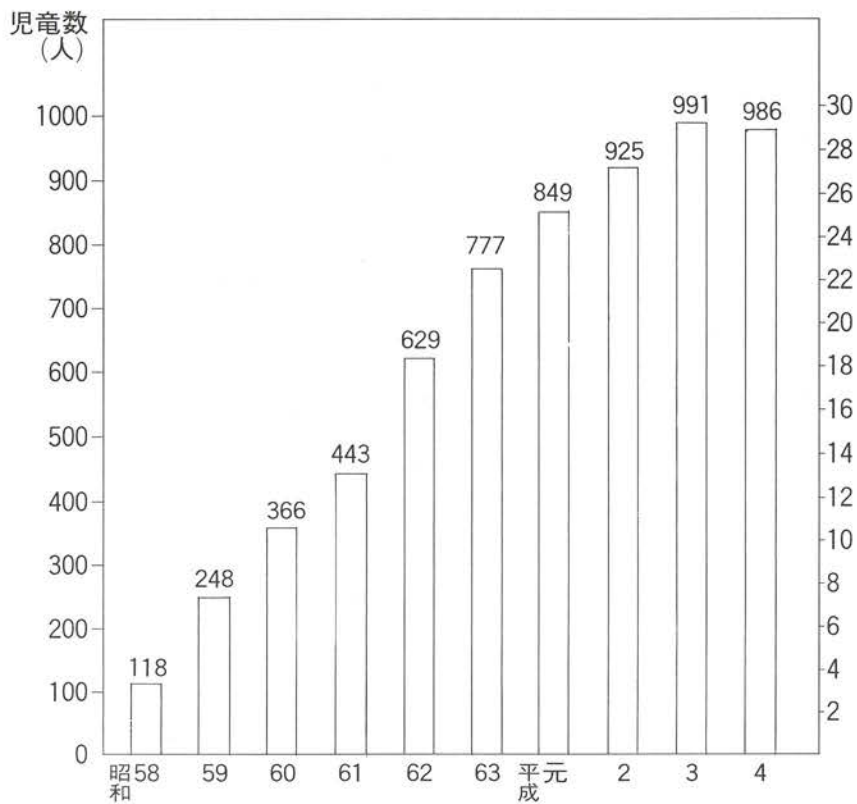
私は、現在67才です。学校へ通っていたころは、今とちがって国語と算数と体育の勉強だけでした。着ていたものは、着物しょうがくりょうで、修学旅行に行く時初めて洋服を買ってもらい、とてもうれしかったのを覚おぼえています。ゾウリ、ゲタ、くつは一年いっねんに一足いっそくぐらいしか買ってもらえなかったのが、大切にはきました。ゾウリを自分で作ってはいったこともありました。そのころは給食がなく、お弁当を持って行きました。今のようにおかずはいろいろなく、日の丸弁当まるべんとうとあって、白はんいご飯のまん中に梅干うめぼしが一こだけ入っているという粗末そまつなものでしたが、食たべ盛さかりのころで、とてもおいしく感じました。遊びは、今と全くちがって、自然あいてが相手あいてでした。川でどじょうやうなぎやもくたがに、げばちなど（ナマズ）等などをつかまえました。山へ行って木のこをとったり、栗・柿・ぐみの実をとって食べたりしました。

(4) 荏田南小学校のうつりかわり



荏田南小学校開校の頃の校舎

○児童数、学級数のうつりかわり





昭和54年頃の様子

○児童数・学級数・教職員数

| 年度 | 児童数 | 学級数 | 先生の数 | 入学者数 | 卒業者数 |
|------|-----|-----|------|------|------|
| 昭和58 | 118 | 6 | 14 | 14 | 25 |
| 59 | 248 | 7 | 16 | 41 | 52 |
| 60 | 366 | 11 | 20 | 64 | 65 |
| 61 | 443 | 13 | 23 | 87 | 91 |
| 62 | 629 | 17 | 28 | 117 | 107 |
| 63 | 777 | 21 | 33 | 156 | 100 |
| 平成元 | 849 | 24 | 37 | 144 | 136 |
| 2 | 925 | 25 | 38 | 185 | 130 |
| 3 | 991 | 27 | 41 | 187 | 145 |
| 4 | 986 | 27 | 41 | 150 | 149 |



校舎全景
(昭和58年度)



校舎全景
(平成4年12月)



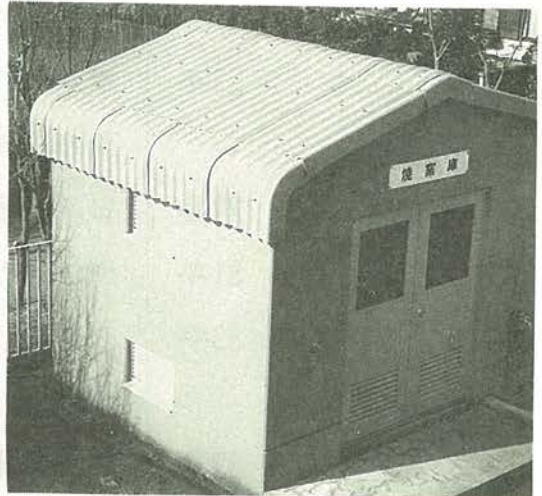
家庭料理での調理実習



おおぞらホールで練習するバトンクラブ



体育館での授業



やきがま庫が完成する（平成5年2月）

| |
|-----|
| 年 表 |
|-----|

| 西れき | 和れき | おもなできごと |
|------|------|---|
| 1868 | 明治元年 | 江戸を東京とし、年号を明治とする。 |
| 1869 | 2年 | 東京～横浜間に電信 ^{てんしん} が開通する。
横浜馬車道通りで、日本で初めてアイスクリームが製造販売される。 |
| 1870 | 3年 | 神奈川県から神奈川県となる。 |
| 1872 | 5年 | 東京～横浜間の鉄道が開通する。
学制が公布され、翌年から全国に校舎がつくられる。 |
| 1874 | 6年 | 〇荏田学舎が観福寺で開校される。 |
| 1879 | 12年 | 12月、川和に郵便役所が設置される。 |
| 1882 | 15年 | 横浜警察署ができ、派出所が設けられた。 |
| 1886 | 19年 | 義務教育制度を定める。 |
| 1887 | 20年 | 県営横浜水道が完成する。 |
| 1889 | 22年 | 大日本帝国憲法が公布される。
市制が施行され、横浜町から横浜市となる。 |
| 1890 | 23年 | 横浜にはじめて電燈がつく。
東京～横浜間に電話が開通する。 |
| 1894 | 27年 | 日清戦争が始まる。 |
| 1898 | 31年 | 横浜測所で、天気予報を開始する。 |
| 1900 | 33年 | 東京～横浜間に自動電話が開通する。
商店では、はがき、切手が売られるようになる。 |
| 1904 | 37年 | 日露戦争が始まる。 |
| 1905 | 38年 | 京浜電気鉄道（今の京浜急行）、品川～神奈 |

| | | |
|------|-------|--|
| | | 川間が開通する。 |
| 1907 | 明治40年 | 小学校令が改正され、小学校尋常科が6年、高等科2年となり義務教育は6年となる。 |
| 1908 | 41年 | 横浜鉄道（今の横浜線）、神奈川～八王子間が開通し、横浜市歌と市章ができる。
横浜開港50年記念祭。 |
| 1910 | 43年 | 足踏み式回転脱穀機が発明された。 |
| 1912 | 45年 | 年号を「大正」とあらためる。 |
| 1914 | 大正3年 | 第一次世界大戦が始まる。
京浜東北線、東京～横浜間が開通する。 |
| 1917 | 6年 | 横浜鉄道を国が買い上げ、横浜線となる。
○荏田～溝ノ口間に乗合馬車が走る。 |
| 1918 | 7年 | 第一次世界大戦が終わる。
文部省が尋常小学校国語読本「ハナ・ハト」を発行する。 |
| 1923 | 12年 | 関東大震災 <small>たいしんさい</small> がおこる。 |
| 1925 | 14年 | 野毛山公園が開園する。
東京放送局がラジオ放送をはじめる。 |
| 1926 | 15年 | 東横電鉄（今の東横線）、丸子橋～神奈川間が開通する。 |
| | 昭和元年 | 大正15年12月、年号を「昭和」と改めた。 |
| 1928 | 2年 | 横浜に市制・区制が施行され、5区ができた。 |
| 1929 | 3年 | ラジオ体操の放送が始まる。
神奈川県庁、横浜駅ができる。
市営バスが運転を開始する。 |
| 1930 | 5年 | ○山下公園が開園される。 |

| | | |
|------|------|--|
| 1931 | 昭和6年 | 横浜中央卸売市場ができる。
○満州事変がおこる。 |
| 1932 | 7年 | 東横線全線開通。(渋谷～桜木町間)
荏田駐在所が設立された。 |
| 1935 | 10年 | 港北区役所山内出張所ができる。 |
| 1937 | 12年 | 日華事変がおこる。 |
| 1939 | 14年 | ○横浜市が7区となる。
第二次世界大戦が始まる。 |
| 1940 | 15年 | 砂糖やマッチが切符制となった。
○ガソリンがないためバスの運行が休止された。 |
| 1941 | 16年 | 小学校が国民学校と改称され、尋常科が初等科となる。
○荏田～綱島間に乗合馬車が運行される。
太平洋戦争が始まる。
米、みそ、しょうゆが配給制となり、菓子と野菜が切符制となる。 |
| 1942 | 17年 | 衣料も切符制となる。 |
| 1943 | 18年 | 横浜市が8区となる。 |
| 1945 | 20年 | ○大空襲があり、横浜の中心部は全滅した。
第二次世界大戦が終わる。
岸根砲台あとに米軍基地ができる。 |
| 1946 | 21年 | 日本国憲法が公布される。
農地改革が行われ、自作農がふえる。 |
| 1947 | 22年 | 6・3・3制の新教育制度となる。
国民学校が小学校となり、初等科、高等科の区別がなくなる。 |

| | | |
|------|-------|--|
| 1948 | 昭和23年 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 神奈川県マークが制定される。 野毛山動物園が開園する。 |
| 1949 | 24年 | 対面交通（人は右、車は左）がはじまる。 |
| 1951 | 26年 | <ul style="list-style-type: none"> 県の花として「やまゆり」が決まる。 岸根基地（今の岸根公園）が米軍に使われる。 <small>こうわじゅうやく ちょういん</small> 講和条約が調印される。 |
| 1952 | 27年 | 住民登録が全国一斉に行われた。 |
| 1953 | 28年 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 日本ではじめてのテレビ放送がはじまる。 長津田に大火がある。 |
| 1954 | 29年 | <ul style="list-style-type: none"> 県立図書館、音楽堂ができる。 国道246号線の工事開始。 |
| 1955 | 30年 | <ul style="list-style-type: none"> 京浜第二国道（国道一号線）が開通する。 長津田厚生病院が開院される。 |
| 1958 | 33年 | 開港百年記念祭が行われる。 |
| 1959 | 34年 | ○ 根岸湾海岸の埋め立てがはじまる。 |
| 1964 | 39年 | <ul style="list-style-type: none"> 東海道新幹線が開通する。 国鉄根岸線（桜木町～磯子間）開通。 新横浜駅ができる。 東京オリンピックが開かれた。 青少年の家が建設された。 |
| 1965 | 40年 | ○ 「こどもの国」が開園する。 |
| 1966 | 41年 | <ul style="list-style-type: none"> 県新庁舎ができる。 田園都市線が開通する。 |
| 1967 | 42年 | こどもの国線が開通する。 |
| 1968 | 43年 | ○ 横浜市の人口が二百万人をこえ、全国3位となった。 |

| | | |
|------|-----|---|
| | | 東名高速道路が ³ 開通する。 |
| | | 市電、六角橋が ³ 廃止となる。 |
| 1969 | 44年 | 横浜市が ¹ 4区となる。 |
| 1972 | 47年 | 岸根基地が ³ 横浜市に返還される。 |
| | | ○初めて横浜市に地下鉄が ³ できる。 |
| | | (伊勢佐木～上大岡間) |
| | | 市電、全線廃止される。 |
| 1974 | 49年 | 岸根公園の工事は ³ じまる。 |
| | | 関東一帯に大雪が ³ 降った。 |
| 1976 | 51年 | ○地下鉄開通 (横浜～上永谷間) |
| 1978 | 53年 | 首都高速道路が ³ 東神奈川より、関内までのび、
第三京浜国道につながる。 |
| | | 横浜スタジアムが ³ 完成する。 |
| | | ○横浜市が ³ 全国で人口第二位の都市になる。 |
| 1979 | 54年 | 羽沢駅が ³ 開業する。 |
| 1981 | 56年 | 「みなどみらい21計画) が ³ できる。 |
| 1983 | 58年 | 9.1 開校・始業式 |
| | | 9.2 開校式・祝賀会 |
| | | プール開き 校庭整地完了 |
| | | 11.13 第1回秋季運動会 |
| 1984 | 59年 | P T A 設立 中庭整備完了 |
| | | 3.31 第1回卒業式 |
| | | 県・市緑化事業完了 |
| | | 5.15 校章制定 |
| | | 5.31 第1回創立記念式 |
| | | 6.1 校旗制定 |

| | | |
|------|------|---|
| | | スクールゾーン協議会設立 |
| 1985 | 60年 | 11.13 荏田小PTAよりの銀杏植樹
横浜こども科学館オープンする。
地下鉄開通する。(横浜～新横浜間)
ジャングルジム完成 |
| 1986 | 61年 | 12.14 校歌制定
みのり公園開園
横浜人形の家オープンする。 |
| 1988 | 62年 | 市学校給食優良校(管理部門)として表彰される。 |
| 1989 | 平成元年 | 年号が『平成』となる。
横浜博覧会 <small>はくらんかい</small> が開かれる。
ベイブリッジ開通する。 |
| 1990 | 2年 | 2. 学校保健推進校(市・区保健会)として表彰される。
4.3 校舎増築工事竣工
3.22 校庭整備完了
4.1 A校舎2階ホールを普通教室に改修する。(2教室)
11.10 横浜市小中学生創意工夫展学校賞を受賞する。(市長・教育委員長) |
| 1991 | 3年 | 3.20 優勝旗制定
4.3 A校舎3階ホールを普通教室に改修する。(2教室)
6.15 プール全面塗装工事完了
12.3 新設校開校準備委員会発足 |

1992

4年

4.1 市徳育実践推進校となる。

7.28 市学校給食優良校(指導部門)として表彰される。

8.31 職員室拡張工事完了

9.27 第10回運動会

1993

5年

3.1 やきがほ焼窯庫設置工事完了

3.19 第10回卒業式

6.26 十周年記念式典挙行



創立10周年を記念して、学校の歴史や学区の様子を調べる学習に役に立つような資料を集めて、「記念資料集—ふらみんご」=「副読本」を作りました。

平成4年3月から、どのような資料を集めて、この本を作ったらよいか、なんども相談して計画をたてました。そして、先生方みんなで手分けして、調べたり、まちの人に聞いたり、資料をいただいたり、写真を撮ってもらったり、沢山の人の親切と協力によって、平成5年4月完成することができました。この副読本は、三年生の学習にも生かせるようにしたいと考えて、中学生のみなさんに分かるように書き方を工夫しました。

この本を読んで、荏田南のことを知り、わたしたちのまち荏田南を守りさらにすばらしいまちにしてくれる人になってほしいと思います。

最後にこの本の作成に力を尽くしてくれた10周年実行委員の方々、貴重な資料を提供して下さった多くの方々に対し、心より感謝し、編集委員一同を代表し、厚く御礼申し上げます。「10周年記念」 5年6月1日

—資料集作成のため協力いただいた方々—

- ・串田金次 氏
- ・志村一夫 氏
- ・住宅・都市整備公団
- ・都筑センター管長 小島陽子
- ・柚木雛子保存会

—資料集作成にあたった先生方—

| | | | | | |
|-------|-------------|-----------|--------|-------|-------|
| | 学校長 柿 澤 長 世 | 副校長 杉 山 勝 | | | |
| 平田ひとみ | 山田昭文 | 高場信子 | 大橋里花 | 工藤正啓 | 宮崎智子 |
| 一色康子 | 佐藤真由美 | 小出しのぶ | 小野寺朋浩 | 土志田美篤 | 池田千晶 |
| 西 久美子 | 奥田英明 | 小林亮子 | 中川幸恵 | 古谷野和夫 | 能登崇代 |
| 林 むつみ | 宮田健蔵 | 神田豊子 | 関野瑞枝 | 吉村秋徳 | 吉田友明 |
| 柴田優子 | 中村かずえ | 井田利明 | 山本 強 | 坂本しげ | 鹿野みき子 |
| 青木みち子 | 尾崎隆一 | 濱谷正美 | 小山内留理子 | 内田美恵子 | 本多昭代 |

創立十周年記念資料集（荏田南）

ふ ら み ん こ

発行日 平成5年6月26日

発 行 荏田南小創立10周年記念事業実行委員会
横浜市立荏田南小学校内
緑区荏田南二丁目5-2番地
☎045-942-1040

印 刷 株式会社 第一サンエー
☎044-222-2356

